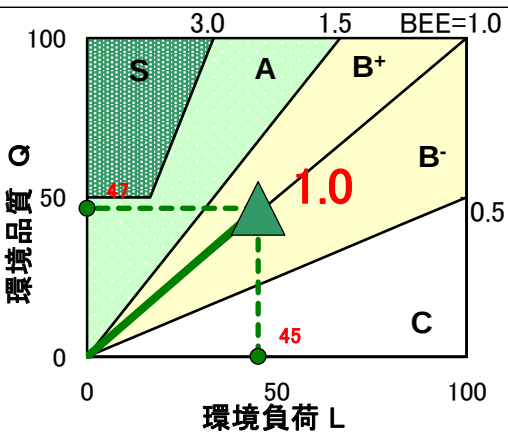
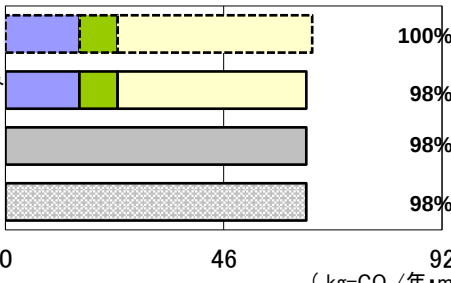
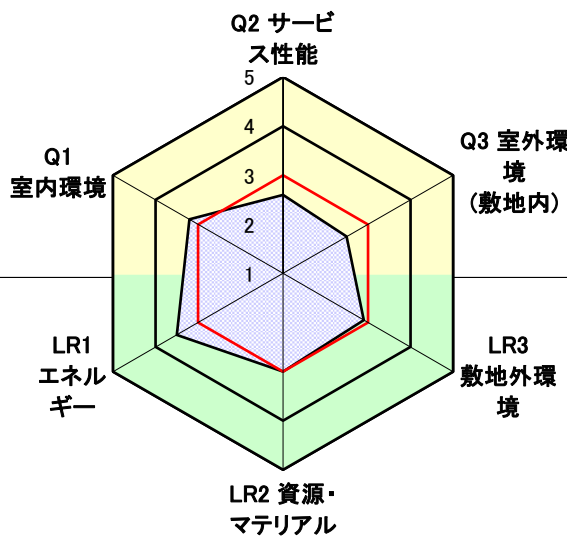
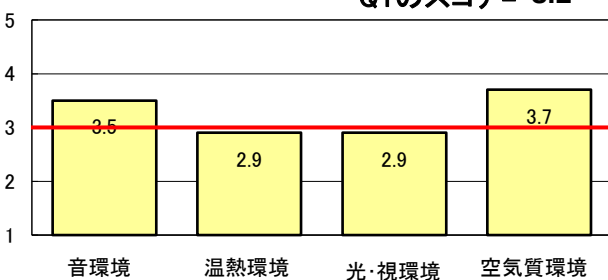
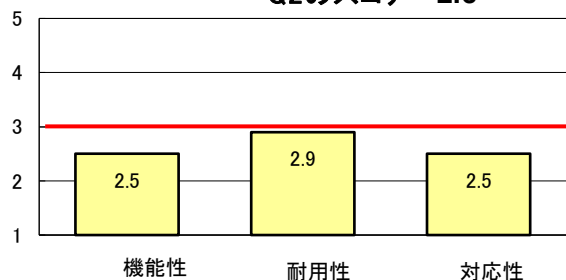
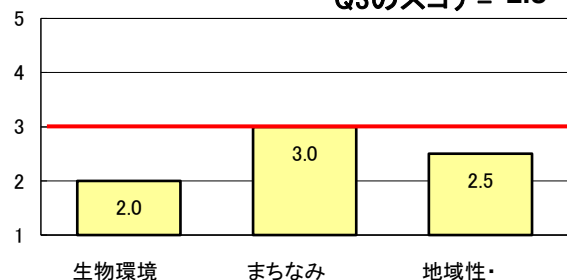
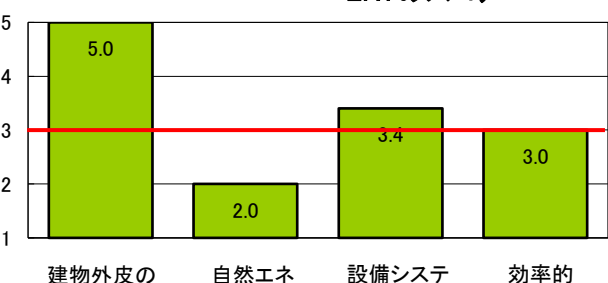
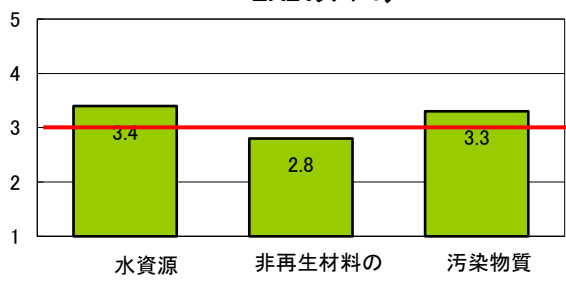
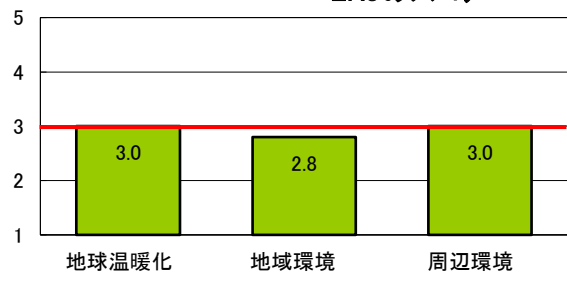


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊丹市・前田様邸 新築工事	階数	地上3F
建設地	兵庫県伊丹市昆陽南四丁目133番、134番、135番、136番の各一部	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年04月 予定	評価の実施日	2023年10月26日
敷地面積	1,752 ㎡	作成者	屋間信秀
建築面積	897 ㎡	確認日	2023年10月31日
延床面積	2,117 ㎡	確認者	前田 茂樹
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE =1.0 S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★ 		 30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆ 標準計算  ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 92 (kg-CO₂/年・㎡) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです	
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		2-4 中項目の評価(バーチャート)	
 Q2 サービス性能 5 Q1 室内環境 4 Q3 室外環境(敷地内) 3 LR1 エネルギー 2 LR2 資源・マテリアル 1 LR3 敷地外環境 1		Q のスコア= 2.8 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2  Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.6  Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5 	
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5  LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0  LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9 		3 設計上の配慮事項	
総合		その他	
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。		特になし。	
Q1 室内環境		Q2 サービス性能	
開口部遮音性能:T-2以上。 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える水準である。		給水(C)、給湯(C)、排水VP(B)を使用。 電気配線は空配管(PF管)内に設置されます。	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える水準である。 [BEI] = 0.96。		節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	
Q3 室外環境(敷地内)		LR3 敷地外環境	
特になし。		特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される